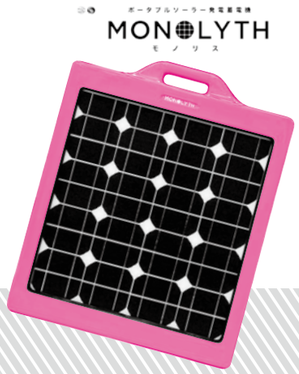
Made In GIFU
新商品・新開発

世界最小・最軽量！可搬型太陽光発電蓄電機「モノリス」
被災地で役立ちたい との想いから開発

ベーシス㈱ 代表取締役 関谷高史 氏

岐阜市杉山町にあるベンチャー企業 ベーシス㈱ 代表取締役 関谷高史さんが一昨年の福島第1原発事故をきっかけに、再生可能エネルギーを活用した新しい電力供給方法を提案しようと開発した可搬型太陽光発電蓄電機「モノリス」。

震災後の被災地に立ち「自分に何ができるのか」と自問自答を繰り返したという関谷さん。被災した方々のなかの『不安』を少しでも取り除けたらとの想いを胸に、「この開発は自分にとっての使命」と全力で進めた製品は今、国内の商社はもとより海外からも注目を集めています。



関谷高史さん、39歳。岐阜市に生まれ岐阜市に育ち、休日は大好きな長良川でのんびり過ごすという生粋の「岐阜人」。岐阜市内のガソリンスタンドの三代目として繁忙に過ごす毎日のなかで、ふと「確かに忙しくはあるが、自分はいつまでもこのまま家業を『守る』だけでいいのだろうか…」という想いがつのるようになり、いつしか「自らが動き出す」ための新たな事業展開を考えるようになりました。そのなかで次世代エネルギーとして注目される太陽光発電での蓄電に興味を抱くようになったのが今から約3年前のこと。元来「思い立ったらまず行動」という関谷さんは、すぐさま太陽光パネルの講習会に参加。パネルの自作に取り組みました。

その直後、東日本大震災が発生。「いてもたってもいられなかった」と当時を振り返る関谷さんは、発生直後「うちのガソリンを東北に届ける」と今にも走り出さんばかりの勢いだったそう。周りに落ち着くよう止められて、我に返ったとき「そうだ！だからこそ新エネルギーの時代なんだ」という想いにますます火がつきました。

「災害時など、どんな状況でも電源確保ができる、太陽光発電蓄電機を開発する」

更にその想いを強くした関谷さんに、もう止まっている時間はありませんでした。本格的に全力で動き出し、東奔西走する毎日。そんな自らを「縁に恵まれている」と言う関谷さんの熱い想いに賛同した部品メーカーや同志との出会いもあり、想いは形に大きく近づきだしました。

「苦労はほんとうにたくさんありました」

なかでも関谷さんが何よりこだわったのが一人で、片手で持ち運べる「小型・軽量化」でした。

既に発売されている可搬型の太陽光発電蓄電機はあっても、重さ・厚さがかなりあり簡単に持ち運べるというようなサイズではなく、また充電量が小さいことが指摘されていました。

「いざというとき、誰でも手軽に扱えるものでないと、ほんとうにダメなんです」

関谷さんは「避難しながらでも持ち動ける」ことを前提とした、小型・軽量の蓄電池に合う太陽光パネルとをつなぐ「高性能な基盤」を完成させるため、紆余曲折。しかし大震災はまたいつ起こるかわからない。早く役に立ちたいという焦り…。そうこうする1年半の時間を経て、遂に40Wパネル、リチウムフェライトバッテリーを搭載し、家庭用コンセントもそのまま使え、総重量9㎏～13㎏、薄さ6㎝という可搬型太陽光発電蓄電機「モノリス」を完成させました。しかもこの1台で6時間の日照(充電)でテレビ5時間、LED電球32時間、スマートフォンなら50台もが充電できます。また正弦波を出力するため医療用精密機器に対応でき、幅広い被災地活動・支援に役立てることも可能なのです。

「このサイズで同じ性能のものは、世界中にありません」

そう、自信満々に語る関谷さん。

現在、来年度からの販売に向け、性能試験の真最中。日本の四季に対応できるよう、綿密な改良を重ねています。

そして、その販売先として幾つもの声がかかるなか、現在関谷さんは、代理店やスポンサーを募り確実な販路の確立と協力会社との連携を考えています。

「震災をきっかけにこの開発を進めてきました。少しでも多くの皆さんの『支え』となれる製品であるためには、現在販売価格30万位となっているものを、より多くの方に、より手軽に普及できる価格にしたいのです」

また更に、その先の開発をも既に試みはじめています。

次モデルは何とこの製品の1／4程に小型・軽量化させるとのこと。その開発は、日本に先駆けてアメリカ・シリコンバレーからの販売に向けて着手しはじめました。

社名である「ベーシス」は、生活の支えとなる土台(basis)という意味。

「これからも、多くの方の大事な生活の『基』となるものを支えるために、今何が必要かを考え、それを生み続けていきます」

自作の太陽光発電蓄電機の第一号と関谷さん

「ご覧の通りポリバケツ製の蓄電機だったんです。でも今でもしっかり蓄電・発電していますよ」

モノリス開発チーム

内部基盤の開発を手掛ける㈱アクトプロダクツ 尾形窓哉 さん(写真中央)の監修の下、現在来年の発売に向けて鋭意性能試験を繰り返しています。(写真左)社長 関谷高史さん (写真右)常務 吉位英也さん

ベーシス株式会社
代表取締役 関谷高史 氏

〒500-8829岐阜市杉山町24-4
岐阜市創業支援ルーム201号室
Tel.058-214-6361
Fax.058-214-6381
E-mail info@basispro.co.jp
HP http://basispro.co.jp/

事業概要
○再生エネルギーを媒体とした携帯型発電蓄 電器の開発・製造・販売
○ソーラーパネルの販売・設置
ソーラーパネルは「経済効果」を発揮させるものです。ご相談下さい。